

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長 新年挨拶

フエリーチャンノブヤーロン
皆様あけましておめでと
うございます。
みずのとう

癸卯 令和五年の元旦祭を寿
ぐ名古屋分苑に來られた皆様
と共に仕えさせていただき
誠にありがとうございました。

昨年はコロナウイルス感染
者が愛知県でも多発し予定を
していた教本講習会はやむを
得ず中止とさせていただき、
受講を希望されていた方々に
大変申し訳ない思いました。
如何にか祭式講習会・葬祭研
修会は開催でき、また東海教
区の方達の参加もあり一安心
いたしました。

本部での祭典では開教百三
十年を迎え禁足地 本宮山へ
の特別参拝のお許しがあり多
くの方々も参拝されました。
瑞生大祭に宣伝使拝命を受
けられた方達は、晴天の中、

女性は白衣はくいこの花帯・男性は
白衣はくい袴あはかまが太陽の光に輝き名

古屋分苑からは天野静子様が
み手代授与が終わり朝陽館か
ら神教殿へ降りて來られる姿
は宣伝使として眩まぶしく感じさ
せていただきました。

直心会バザーに携わった方達
お疲れさまでした。

開祖大祭には長生殿正面に
四代教主様の直筆の扁額へんがくが掲
げられました。

名古屋分苑誠心会の綾部で
の献勞では四月には本宮山近
辺へん・十月には長生殿からみる
く殿の枯れ木取集と四月と同
じく金竜海周辺清掃と大八洲
神社・杓島めしま・冠島おしま神社・大本
塩釜神社のお社拭きのお掃除
をさせていただきました。

開祖大祭での教主さまの挨
拶で今年は令和五年六年七年
と五・六・七と大本ではみる
くみくの世激動の初年度を迎え一
層氣を引き締めて同じ価値観

持つ方々とのご縁を大切に絆
を深めて未来へ向かって今
自分が出来ることに力いっば
い努めさせて頂きましようとお
ことばがありました。

聖師様の月鏡には、

一、子供になつて寝る子供に
なれば悪魔はよう襲わぬ。
二、私は、今年から年を三十
放はなかして二十九になつた。

飯はなんぼでも食えるし、
今までにないぐらい丈夫
になつた。はちされるほ
ど元氣旺盛だ。大いに活
躍しよう。

という文章がありました。

聖師様の愛善健康法八ペー
ジに七十ははなれ小僧百歳
になりていよいよ男盛りよと
よんで、おじい様と呼ばせな
いそこで六十以上の人のため
に健康と長寿の一方法として
一、老人であるという觀念を
去ること

一、氣持ちを若く持つこと
一、青年男女と交際すること
など二十三項目書かれていま
す。
氣持ちを若く持つて家庭で

も、また分苑行事にもどしど
し参加して頂き、分苑に参拝
され氣持ちよく帰っていただ
いて又お参りに行こうという
雰圍氣を創つくって行きたいと思
います。

そのためには、どうか一年
の計は元旦にありという諺ことわざに
あやかり皆様の意見に傾聴し
て実行してまいります。

一昨年、師走月次祭から直
会を再開して丸一年が経過い
たしました。この直会のため
に食材を提供された方達・直
会と各種講習会の食事作りに
携わっていただいた方達に感
謝申し上げます。

本日のご参拝ありがとうございました。

コーランダ

ンコン

行事報告

●月始祭

十二月三日（土）

参拝者	十一名
齋主	妹尾 正治
祭員	小林 清人
進行	天野 芳幸



●月次祭

十二月十八日（日）

参拝者	三十五名
齋主	瓜生 秀明
祭員	妹尾 正治
祭員	堀 健太郎
祭員	日比 達朗
裏方	青山 将士
典礼長	小林 清人
伶人	飯田 直美
伶人	長谷川 美枝
伶人	岡田 幸子
進行	井藤 良則

その後、機関長会議が開催さ
れ、令和五年度の教団方針・愛
善会活動方針・分苑予算ついて
高嶋分苑長より説明があつた。

●令和四年 誠心会活動報告

四月二十四・二十五日
誠心会長 畠山 茂

綾部聖地献勞奉仕
本宮山参道入口路面整備、
伐採樹木積み込み作業、大
八洲神社、金竜海周辺の清
掃作業
参加者九名

五月二十八・二十九日
第15回誠心会研修会
瑞泉苑久兵衛池泥上げ作業
参加者 二名

十月二十九・三十日

綾部聖地献勞奉仕

苑内の剪定した檜垣を清掃

作業、金滝海周辺の清掃作

業、大八洲神社、沓島、冠

島神社清掃 参加者七名

十一月二十六・二十七日

第6回全国誠心会長会議

第16回誠心会員研修会

令和5年度教団方針他、瑞

泉苑久兵衛池泥上げ作業

参加者二名

誠心会員によるみ手代お取

次ぎの実施 対象者 一名

(申込みにより月始祭祭典後

実施しています)

一月七日(土)

入学祈願 午後一時より

一月十五日(日)

月次祭 午前十時半より

一月十八日(水)より

人型受付 十時〜十六時

二月三日(金)

節分大祭 遥拝祭

二月四日(土)

月始祭 午後一時半より



言葉の力 その⑨

特任宣伝使 妹尾 正治

「人間は万物の長である」と自負していますが第六感に関しては他の動物に劣ると言われます、本来持っていた第六感(直感・靈感・予感・虫のしらせ等)は進化の途中で衰えた様です。

ナマズは地震発生の予兆を微細な電流の変化で察知します、又ハチはその年の台風を予知して風の当たらない方角に巣を作ると言われています。

予知能力が薄れた人間は、先

が見えない不安を色々な方法で払拭しようとし、下駄の鼻緒が切れると悪いことが起こりそうとか、茶柱が立つと今日一日は縁起が良いとか、占いに人生を託してみたり、おみくじの吉凶で一喜一憂したりしています。

予知とは違いますが、自身の先の運気を高めるのに、ジンクス・ルーティン・呪文などが有ります。

ラグビーの五郎丸選手のゴールキック前のルーティンや、将棋の藤井聡太五冠には対戦

中の休憩で2種類のジュースを飲むと勝利するジンクスが有ります。

呪文では、「くわばら・くわばら」と唱えると雷が落ちないとか、子供が転んで泣いているとお母さんが「チチンプイプイ痛い痛い痛い飛んで行け!」とさすってもらい痛みが消えるとも云われます。

お勧めは琉球神道の真言『はるち(張る気)うむち(生む気)つづち(続く気)』です。

出口日出磨尊師は『何ごとをするにもこの言霊をくり返

名古屋分苑 令和5年度 予算

昨年12月3日に開催された総代会にて
下記のように予算が承認されました。

令和5年度 収支予算書				
自	令和5年01月01日			
至	令和5年12月31日		令和4年12月3日	
収入の部				
科 目	令和4年度予算	令和4年度見込	令和5年度予算	増 減
玉 串 料	2,520,000	2,587,500	2,520,000	0
本部交付金	800,000	771,003	800,000	0
分苑維持献金	1,400,000	1,358,140	1,400,000	0
雑 収 入	10,000	1,064	10,000	0
合 計	4,730,000	4,717,707	4,730,000	0
支出の部				
科 目	令和4年度予算	令和4年度見込	令和5年度予算	増 減
祭 務 費	1,030,000	706,389	1,030,000	0
玉 串 費	300,000	347,160	300,000	0
教 化 費	880,000	320,855	880,000	0
総 務 費	1,430,000	1,294,261	1,430,000	0
維 持 費	760,000	758,563	760,000	0
厚 生 費	330,000	56,000	330,000	0
小 計	4,730,000	3,483,228	4,730,000	0
当期余剰金	0	1,234,479	0	
合 計	4,730,000	4,717,707	4,730,000	0

し唱うる時は よき実りあるなり』と信仰覚書に記されています。

皆さんもこの呪文で充実した日々を送りましょう!

お知らせ

人型受付のため、次の日程は日直を毎日行います。

一月二十五日(水) 〃

二月三日(金)

忍び草

神ノ倉分所

宣伝使 仲嶋悟 毘古

享年 八十七歳

令和四年十二月二日 帰幽

平野三香子 毘女

享年 四十七歳

令和四年十二月二日 帰幽

一宮支部

宣伝使 種村伊津子 毘女

享年 九十七歳

令和四年十二月九日 帰幽

明北支部

小林勝 毘古

享年 七十五歳

令和四年十二月十日 帰幽

謹んで哀悼の意を表します